

生態工学 2014 年第 2 回理事会議事録

日 時：2014 年 10 月 24 日（金）14:30～15:20

場 所：駿河台記念館

出席者：会長、副会長、各委員会委員長および庶務理事

【総務委員会】

2014 年度生態工学会 第 2 回理事会

- (1) 会員数・賛助会員数に関して報告があった。
- (2) 審議事項
 - ・理事新任に関して
篠崎正利先生の就任について理事会はこれを了承した。
- (3) 報告事項
 - ・共催依頼に関して
「第 58 回宇宙科学技術連合講演会」共催依頼に関して承諾した。
 - ・協賛依頼に関して
「アグロ・イノベーション 2014」協賛依頼に関して承諾した。
 - ・協賛依頼に関して
「第 25 回 SHITA シンポジウム」協賛依頼に関して承諾した。
 - ・日本農業工学会フェロー推薦 に関して
北宅善昭先生を推薦することが報告された。

以上

【編集委員会】

2014 年度編集委員会活動報告(10 月期)

1. 生態工学会誌の発刊

下記の報告がなされた。

生態工学会誌「生態工学」26 巻 2 号～26 巻 3 号(2014 年 4 月、7 月発刊)を発行した(内容：原著論文 6、短報 3、特別寄稿 1、解説 1、ニュース・企画・報告・お知らせ 2、投稿規程、総ページ 92)。現在準備中の 26 巻 4 号では、原著論文 1 報、短報 2 報を掲載予定。

なお、2014 年 10 月 10 日時点での査読中の論文は、原著論文 4 報、受理済み 1 報(掲載は 27 巻 1 号の予定)である。

また、26 巻 3 号までを J-STAGE 上の電子ジャーナルとして公開した。

2014 年度「生態工学」掲載論文一覧

種類	第 26 巻			第 27 巻
	2	3	4	1
特別寄稿	1			
特集論文				
原著論文	2	4		
短報	1	2		
総合論文				
解説・資料	1			
受賞記念寄稿				
ニュース・企画・報告	1	1		

審議事項

2. 編集委員会副委員長人事

本年度総会において石川芳男理事が退任し、それにともない編集委員会副委員長職の空席に伴い、編集委員会より、東京女学館大学の宮嶋宏行先生を新たな副委員長として推薦があり、理事会はこれを了承した。

3. 委員会企画もの記事

次世代科学社会活性化委員会の富田理事より、委員会企画で記事を書きたいという提案があり理事会はこれを了承した。なお掲載料に関しては今後、検討していく事となった。

以上

【企画委員会】

2014 年度企画委員会中間活動報告

下記の報告がなされた。

10月24日現在までに下記企画の(1)～(2)を実施。今年度内に(3)～(6)の企画を実施予定。

(1) 日本地球惑星科学連合2014年大会（合同開催）

日 時：2014年4月28日（月）～5月2日（金）

会 場：パシフィコ横浜（横浜市）

主 催：日本地球惑星科学連合

セッション参加人数： 30名

特記事項：4月29日（火）にセッション「惑星と閉鎖生態系における生物のシステム-微生物からヒトまで」において、6件の口頭発表と3件のポスター発表を実施した。

(2) 2014生態工学会年次大会（主催）

日 時：2014年6月27日（金），28日（土）

会 場：プラサヴェルデ（静岡県沼津市）

参加人数：80名

特記事項：一般セッション口頭発表 20課題、ポスターセッション22課題

特別講演会「生態系保全に向けた地域の資源・エネルギー有効利用」

静岡県における再生可能エネルギー利用の現状と展望 平井一之

（静岡県環境資源協会）

施設園芸の省エネルギー技術

林 真紀夫（東海大学）

静岡県における水産と我々の取り組み

遠藤 雅人（東京海洋大学）

(3) 第7回生態工学・定例シンポジウム

日 時：2014年11月7日（金）13：30～17：00 情報交換会 17：30～19：00

会 場：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館E棟10階1001号室

テーマ：再生可能エネルギーの現状と課題

特記事項：

13:30-13:40 開会挨拶 竹内俊郎(生態工学会会長、東京海洋大学)

13:40-14:20 再生可能エネルギーの現状と課題 佐久 秀弥
(経産省資源エネルギー庁)

14:20-15:00 人類の太陽エネルギー時代が始まった 玉浦 裕(東京工業大学)

15:00-15:20 休憩

15:20-16:00 洋上風力発電と海洋エネルギー利用の現状と課題
塩原 泰((一社)海洋産業研究会)

16:00-16:40 宇宙太陽光発電システムについて 藤田 辰人
(宇宙航空研究開発機構)

16:40-16:50 閉会の挨拶 大西 充(生態工学会企画委員会副委員長、JAXA)

(4) 第58回宇宙科学技術連合講演会（共催）

日 時：2014年11月12日（水）～11月14日（金）

会 場：長崎ブリックホール（長崎市）

主 催：日本航空宇宙学会

特記事項：オーガナイズドセッション「宇宙で生きる！」を企画、13日(木)に18件の講演実施予定。

(5) 定例研究会

第1回

テーマ：植物工場空調の現状と課題

日 時：2014年5月30日（金）

会 場：駿河台記念館

講 師：伊能利郎先生（ダイキン工業株式会社）

第2回

テーマ：竹林整備で日本を救う

日 時：2014年10月24日（金）

会 場：駿河台記念館

講 師：篠崎 正利先生

（認定 NPO 法人蔵前バイオマスエネルギー技術サポートネットワーク）

(6) 2015年度生態工学会年次大会（主催）

日 時：2015年6月27日（土）、28日（日）

会 場：明治大学 黒川農場（神奈川県川崎市）

以上

【表彰委員会】

2014 年度表彰委員会活動報告(10 月期)

下記の報告がなされた。

1. 表彰式の実施

2014 年 6 月 27 日、静岡県沼津市プラザヴェルデにて開催された 2014 年度総会の後に表彰式を行ない、以下の通り表彰した。

【生態工学会賞学術賞】

中林和重 殿

植物生体電位を用いた植物の貧栄養診断法と光照射による生長改善法の研究

【論文賞】

宮嶋宏行 殿

月面移動探査のための分散型生命維持システムの運用に関する一連の研究

【奨励賞】

小倉裕司 殿

粘土鉱物の荷電特性を利用したトマトの水耕栽培

寺尾卓真殿

マイクロコズムにおける空間効果：個体ベースモデルによる 2 種の分解者の共存と生物体量振動現象の解析

【講演論文賞】

木村駿太殿、加藤浩殿、馬場啓一殿、佐藤誠吾殿、富田-横谷香織殿

陸棲ラン藻 *Nostoc* sp. HK-01 における耐性機能の高い細胞形態

中林和重殿、高橋昂平殿

セロリを用いた養分吸収と植物生体電位の研究

東尾恭詳殿、齋藤高弘殿

蛍光分光法を用いた酵母のモニタリング

西野康人殿、中川至純殿、北村充彰殿

オホーツク沿岸海跡湖能取湖における海氷生成期のクロロフィル a の動態

2. 2015 年度学会賞候補者の募集
2015 年度学会賞候補者の推薦を募集した (vol. 26 No. 3 に掲載)。
締め切りは 10 月 31 日。
3. 2014 年度学会賞受賞者の紹介
2014 年度学会賞を受賞された方々の紹介記事を学会誌 vol. 26 No. 3 に掲載した。
4. 賞状および記念品の送付
2014 年次大会において講演論文賞 (4 件) を受賞された方々に、賞状と記念品を送付した。

以上

【広報委員会】

2014 年度広報委員会活動報告(10 月期)

下記の報告がなされた。

2014 年度活動報告

- ・SEE Quick 配信 (メール配信) の運営

SEE Quick 配信依頼に対する取り扱い方法の運用を通して、会員並びに関連学会からの情報の速やかな配信業務が成し遂げられ 2014 年 5 月 17 日から 10 月 20 日までに 76 回 (通算 989 回) 情報提供を行った。今後も SEE Quick の配信業務を行いながら、問題点などを検証し改善に努める。

- ・HP の内容の更新

HP の内容のうち、学術講演会、年次大会、学術賞、定例研究会の頁など適時更新を行った。

以上

【次世代科学社会活性化委員会】

2014 年度次世代科学社会活性化委員会活動報告(10 月期)

下記の報告がなされた。

- ・「第 12 回男女共同参画学協会連絡会」に関して

2014 年 10 月 4 日に東京大学にて開催。

生態工学会としてポスター発表を行った。なお毎年ポスター内に会員へのインタビューを含めており、これらを日常的な企画として随時まとめて、HP などに掲載できるかどうかなど、検討している。

- ・「科学技術系専門職の男女共同参画実態調査データベースに関するガイドライン (案)」に関して

原案に関して報告され、理事会はこれを了承した。

- ・「若手の会」に関して
次世代科学社会活性化委員会内にて、設立準備を行う事が報告された。

以上

【出版企画委員会】

2014 年度出版企画委員会活動報告(10 月期)

下記の報告がなされた。

- (1) 「生態工学ハンドブック 電子版」(アドスリー刊 「Biophilia」内) に関して
 - ・既刊
7月18日アドスリー刊「センシングと生態工学」「光と生物」
「エネルギー・物質生産と生態工学」が刊行された。
 - ・発刊予定
「植物と大気における有機大気汚染物質の交換」に関して 11月中旬発刊予定
「木質バイオマスと地球環境」に関して 2015年1月10日発刊予定
- (2) 「生態工学ハンドブック 書籍版」に関して
2015年度発刊予定

以上

【関東支部報告】

下記の報告がなされた。

関連学協会の開催した下記の講演会・シンポジウムの運営に協力した。

- ・日本生物環境工学会関東支部平成26年度講演会(協賛) 7月4日 機械振興会館
- ・第1回農業電化シンポジウム(主催:一社 農業電化協会) 10月3日 東京大学弥生講堂

以上

【関西支部報告】

下記の報告がなされた。

北宅副会長が中心になり、日本農業気象学会近畿支部と合同によるシンポジウムの企画を推進中。現在は講師を選定中。

日時; 2014年11月29日

シンポジウム; 時刻; 14:00~16:45 共同開催シンポジウム

課題「気候変動とその生態系や私たちの暮らしへの影響を考える(1)」

場所; 大阪府立大学 I-site なんば(地下鉄大国町から徒歩7分)

<http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/map/index.html>

以上